

雪害対策

I 雪害対策

1 共通事項

- (1) 降雪時の農地・農業用施設の見回りは、次の点に留意しつつ、作業者の安全確保を最優先にして対策の徹底を図る。
- ア 見回りをする際には一人では行かない。
 - イ 滑りにくい靴を履く。
 - ウ 道路・ほ場周辺で、隣接する用水路、落差等がある場所には近づかない。
 - エ 倒壊の恐れのあるハウスや畜舎などの施設には近づかない。
 - オ ハウス、畜舎等の雪下ろしを行う際は、ヘルメットをかぶり、滑りにくい履物を履くなどし、複数人で作業を行う。
 - カ 悪天候時には作業を行わない。

2 ハウス施設

積雪が予想される場合は、ハウスの倒壊を防ぐために下記の事項を実施する。

(1) 事前対策

- ア ハウスバンドや天井ビニルは、たるみ等がないようにしっかりと張る。
- イ 屋根被覆資材の表面に、雪の滑落を妨げるような突出物がないかを事前に点検する。特に、防風ネットや外部遮光資材等は必ず撤去する。
また、連棟ハウスの場合は、谷部に雪が積もるので補強を徹底する。
- ウ 加温ハウスでは、暖房機の燃油残量を確認し、燃油を十分に確保する。また、暖房機や電源、配線等についても正常に作動するか確認する。降雪時は内部被覆（二重カーテン）を開放するなど、可能な範囲でビニル直下の室温を高めることで、天井に積もった雪の滑落を促す。
- エ 無加温ハウスでは、ビニルの破損箇所や隙間をふさぎ、ハウスを補強するとともに補助加温を行うなどして、積雪による倒壊を防ぐ。
- オ 耐用年数が経過して老朽化したハウスにおいては、特に補強を徹底する。
- カ 降雪状況等を考慮し、場合によっては被覆資材を切断除去することで施設の倒壊を防ぐ。
- キ 雪解け水が滞水しないように、ハウス周辺の側溝・排水溝を整備しておく。

(2) 事後対策

- ア 積雪した場合は、速やかに雪おろしを行い、ビニルがたるむのを防ぐ。その際は、重みのバランスを考慮しながら雪を下ろしていく。
- イ ハウス施設の損傷やビニルの破損等がある場合は、すみやかに補修する。